

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センターとさっちくらぶ

公表日 令和7年3月13日

環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋を分けて活用し、個別と集団支援をスケジュール等で構造化して対応している。活動によって部屋を変えている。室内をパーティションで区切る、個室対応できる部屋を作る等の工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			個々の課題やニーズに合わせた対応ができるようにチーム支援を行っている。各専門職種を配置して総合的な子どもの発達支援をできるように対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープの配置や手すりなど環境調整している。スロープや手すりの対応など実施している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々のカンファレンスや情報共有で統一化できるように行っている。カンファレンス等を定期的に行い、情報共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			自己評価の結果を基に業務に反映できるように話し合いを行っている。事業所内評価を行い、適宜対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公開している。

適	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			SVを受けて業務改善に努めている。 わからない。 適宜、SVしてもらうことで業務改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画を立てて、個々の専門性に応じた研修や学会参加を促している。 OJTだけでなく、自己研鑽として各種研修等にも参加できるように配慮している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			エビデンスに基づく発達評価や知能評価等を行い、支援に活かしている。標準化された検査を使って、定期的に評価を行っている。 子どもの困りごとに応じて必要なアセスメントを行い対応している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			エビデンスに基づく発達評価や知能評価等を行い、支援に活かしている。様々なアセスメントツールを使用。知能検査や発達検査、各種スクリーニング検査など実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的なカンファレンスを行い、それぞれの専門性について情報共有している。チームでカンファレンス等を行い、決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個々の課題やニーズに応じて対応している。経時的な評価を行い、支援の優先度等を考慮し対応している。支援者が固定化していない。子どもの困りごとや特性に応じたプログラム作成を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			サービス提供時間等の制限はあるが、可能な範囲で対応できるように検討している。長期休暇にはイベントを計画するなどしている。長期休暇時にはイベントを企画したり、グループ活動を実施する等の対応を行っている。

切 な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の課題やニーズに応じたスケジュールや支援内容を検討している。個別の学習支援や小グループでのSST、アンガーマネジメント等の活動も取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			スケジュールや職員配置を確認し、効率的に業務ができるように工夫している。活動内容は話し合いながら決定することで各職員が周知できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間帯により当日中にできないこともあるが、必要なことはカルテで情報共有したり、後日報告をするなどの対応をしている。気になることや困ったことは情報共有する機会を設けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			カルテ記載を行うだけでなく、定量的な分析ができるように各種評価等も行っている。カルテ記載だけでなく、各種委員会活動等でも報告するようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なカンファレンスを行い、支援方針や内容の修正について検討している。保護者との面談や職員間のカンファレンス等で適宜、検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			発達の五領域に沿った支援を検討し、対応している。各専門職の特徴に応じて発達支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管や支援員が参加し、情報共有を行っている。児発管やリハ専門職種が中心となり参加している。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者を中心としながら情報提供をいただいている。LINEや電話連絡など適宜対応している。保護者を中心としながら情報共有に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、対象児がいない。ケアが必要な子どもさんがいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前カンファレンスや担当者会等に対応している。サマリーの作成なども行っている。就学前カンファレンス等に参加し、情報提供している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			現在、対象児がいない。情報提供書等を用いて、連携している。サマリーの作成をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的にSVを受けて対応している。適宜、研修に参加し新たな知見等を用いて支援が行えるように対応している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	子どもの利用状況により対応は様々である。事業所としてもニーズに応じて対応したい。基本的には事業所内で活動しているが、必要に応じて地域との交流等も検討したい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者や児発管が中心となり参加している。担当職員が参画している。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	○			可能な範囲で面談機会を設けているが、まだまだ 頻度や時間調整などは検討が必要であると思われ る。送迎時に保護者の方と話ができるようにして いる。面談機会を設けたり、お迎え等の際には情 報交換するように努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか	○			全職員が家族支援について研修等で学び対応でき るように支援している。行政と共同でペアプロを 行っている。保護者との面談機会を設ける中で必 要な支援等について情報提供している。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	○			契約の際には十分な説明を行うように心がけてい る。契約時やその他説明依頼があった際には対応 している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている か	○			面談機会を設けるだけでなく、日々の支援等につ いても対面でお話できる機会を作るようにして いる。面談機会を設けたり、担当者会等で適宜、 説明を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか			○	同年代の子どもを持つ保護者同士をつなぐなど 個々に対応していることはあるが、保護者会等を 設けて対応はできていない。今後の課題やニーズ に応じて対応したい。活動したいと考えている。 必要に応じて保護者同士でつながりが持てるよう にサポートしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか	○			必要に応じて面談を行う等の対応をしている。 掲示板やその他郵送の書類等で説明を行ってい る。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	○			LINEやInstagramにて報告する等対応している。 掲示板やその他郵送の書類等で説明を行ってい る。

	35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書等を用いて書面にて対応している。保護者に同意を得た上で情報提供書類を作成・配布など行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			できるだけわかりやすい用語を用いる、書面で示す等対応している。必要に応じて視覚支援等を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後の課題やニーズに応じて検討したい。必要に応じて検討したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			避難・防災訓練の年間計画やBCPにて周知を図っている。避難・防災訓練を行っている。適宜、保護者にも説明を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画で避難・防災訓練を行っている。避難・防災訓練を行っている。適宜、保護者にも説明を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月2回の委員会や職員研修内で知識・技術等のブラッシュアップを図っている。各職員が研修受講を行う等、知識・技術のブラッシュアップを図っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			月2回の委員会や職員研修内で知識・技術等のブラッシュアップを図っている。 適宜、委員会活動等で報告・連絡・相談している。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から情報提供いただいている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書を作成し、カンファレンス等で情報共有している。委員会活動等で報告して、再発防止等に努めている。